

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 1 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【公開番号】特開 2003-159588 (P2003-159588A)
 【公開日】平成 15 年 6 月 3 日 (2003.6.3)
 【出願番号】特願 2002-234666 (P2002-234666)
 【国際特許分類第 7 版】

C 0 2 F 1/28
 E 0 3 C 1/086
 E 0 3 C 1/10

【F I】

C 0 2 F 1/28 S
 E 0 3 C 1/086
 E 0 3 C 1/10

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 4 日 (2004.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

吐出モードを切り換えるためのレバーを有し、そのレバーは両端部で回転可能に支持され、レバー操作時のクリック感を持たせるためのクリック機構が設けられている浄水器であって、前記クリック機構として、レバーの動きを弁体に伝達するシャフトの一部に設けられたばねと、そのばねによって付勢される被付勢部材と、その被付勢部材の受納部とが設けられており、かつ、前記レバーの両端部は、蛇口の接続部を挟むように支持されていることを特徴とする浄水器。

【請求項 2】

前記シャフトが、レバーの操作に対応して回転し、かつ吐出モードに対応して各モード用の流出口を開閉することを特徴とする、請求項 1 に記載の浄水器。

【請求項 3】

前記レバーの動作方向が、浄水器の上下方向であることを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載の浄水器。

【請求項 4】

前記クリック機構によるクリック感が、前記レバーが所定のストローク分操作されたときに付与されることを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の浄水器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本発明の浄水器は、吐出モードを切り換えるためのレバーを有し、そのレバーは両端部で回転可能に支持され、レバー操作時のクリック感を持たせるためのクリック機構が設けられている浄水器であって、前記クリック機構として、レバ

一の動きを弁体に伝達するシャフトの一部に設けられたばねと、そのばねによって付勢される被付勢部材と、その被付勢部材の受納部とが設けられており、かつ、前記レバーの両端部は、蛇口の接続部を挟むように支持されていることを特徴とするものからなる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】